

# 東吾妻町から観光案内が届きました

東吾妻町は、群馬県の北西部に位置し、面積約254km<sup>2</sup>、人口約12,000人の町です。町の周囲には、1,000m級の峰々が連なり、町内には真田氏ゆかりの岩櫃城（いわびつじょう）のあった「岩櫃山」や国指定名勝「吾妻峡」、日本名水百選にも選出された「箱島湧水」があり、東吾妻町は水と緑に恵まれた豊かな自然と歴史ロマンが薫るまちです。

春になると町の花である「水仙」が町内各地で咲き誇ります。中でも、岩井親水公園脇の畑では、約30万本ものラッパ水仙が咲き、側には1kmにも及ぶ桜並木が続いています。畑一面に広がる黄色や白の水仙の絨毯と薄紅色に染まる桜のカーテンのコラボレーションを堪能することができます。

新緑の時期になると、「吾妻峡」は緑に覆われ、より渓谷の美しさを感じることができます。歩いて散策するのも良いですが、吾妻峡レールバイク「アガタン」もおすすめです。アガタンは、ハッ場ダム建設に伴い付け替えとなったJR吾妻線の線路の一部を活用した自転車型トロッコで、日本一短い鉄道トンネルと称された「樽沢トンネル」や壮大な「ハッ場ダム」を眺めながら、吾妻峡の景色を満喫できます。また、10月下旬から11月上旬には、艶やかな紅葉に染まり、新緑とは違う美しさを楽しむことができます。

毎年6月中旬から7月中旬にかけて、箱島湧水周辺では今では見ることの少なくなった「ホタル」を観賞することができます。夏の夜空を飛び交うホタルの光は幻想的でとても美しいです。

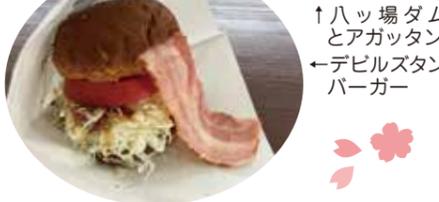
そして、東吾妻町にお越しになった際、ぜひ味わっていただきたいのが、町の特産品である「こんにやく」を使用したご当地バーガー「デビルズタンバーガー」です。英語で悪魔の舌とも言われるこんにやくの花を表現したベロがあるのが特徴です。町内外複数の店舗ごとにオリジナルのデビルズタンバーガーを販売しています。どうぞご賞味ください。

この場では、紹介しきれないほど、魅力のある町です。ぜひ一度お越しください。お待ちしております！

東吾妻町役場まちづくり推進課 富澤 達也



東吾妻町岩井親水公園脇の水仙畑



↑ハッ場ダムとアガタン  
←デビルズタンバーガー

## 外国人のための 無料専門家相談会 実施報告



開催日時：2024年2月17日(土) 13:00～16:00  
会場：杉並区役所中棟6階 第4会議室

東京外国人支援ネットワークに所属する自治体等でリレー開催している無料相談会。杉並区では事前予約制で開催し、17名の方が相談に訪れました。

相談者数 17人 相談件数 25件

**専門家**  
弁護士、行政書士、社会保険労務士、税理士  
**通訳ボランティア 4言語**  
英語、中国語、韓国語、ネパール語

共催：杉並区（公財）東京都つながり創生財団

国籍		専門家別対応件数	
国名	人数	専門家	件数
中国	8	行政書士	8
アメリカ	3	税理士	6
ネパール	2	弁護士	5
日本(帰化、外国人の配偶者)	2	社会保険労務士	1
フランス	1	労働問題	1
スリランカ	1	総数	20
総数	17		

相談内容別件数	
カテゴリー	件数
在留資格・ビザ	8
税金	8
住宅	3
相続・遺言	2
年金	1
医療	1
対人トラブル	1
労働問題	1
総数	25

## コミュかるショップからのお知らせ

### 2024年度のフェア開催について

杉並区役所1階のコミュかるショップでは、年間を通じ、定期的なフェアを開催しています。フェアでは、普段販売していない商品も数多く店頭にありますので、ぜひご来店ください。

ショップの営業時間 AM9:00～PM4:30(月～金)  
※月末は棚卸しのため9:00～12:30 ※土日祝日・年末年始をのぞく

2024年度  
フェア  
開催予定

- 4月上旬 なみすけフェア
- 7月上旬 サマーフェア
- 10月上旬 なみすけフェア
- 12月上旬 名寄もちフェア
- 3月上旬 小笠原フェア

## Event Information from SACE 交流イベント情報

QRコードから  
ご覧下さい。



# すぎなみ交流ニュース

第72号  
2024年4月

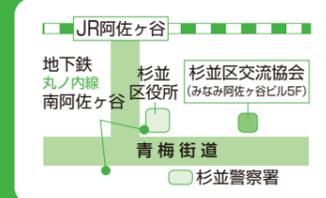
## Suginami Cultural Exchange News

### 스기나미 교류 소식 杉並的交流消息

発行：一般財団法人 杉並区交流協会  
[Suginami Association for Cultural Exchange(SACE)]  
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階  
[Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]  
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org

<https://suginami-kouryu.org/>

◆年4回発行◆ 協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。



目次

- 第21回日本語スピーチ大会 ..... 2
- 令和6年能登半島地震被災自治体への支援の取組(報告)他 ..... 3
- 東吾妻町から観光案内が届きました 他 ..... 4

## 2024年度 杉並区交流協会の主な事業予定

6月/7月/ 10月/3月	区交流自治体へ阿波おどり団派遣
10月	交流自治体中学生親善野球大会(杉並区にて開催)
11月16日(土)	まるごと台湾フェア
2025年 2月8日(土)	外国人のための無料専門家相談会
2025年 3月8日(土)	第22回 日本語スピーチ大会

通年	外国人サポートデスク
	子ども日本語教室(小学生・中学生)

その他、やさしい日本語講座や区交流自治体の特産品等を使った料理教室などを予定しています。

※詳しい情報は、協会のホームページにてご確認ください。



## 交流協会の活動を応援してください!

### 交流協会の会員になりませんか?

**年会費**  
・個人会員 1,000円/年  
・法人会員 20,000円/年

**会員期間**  
入会の月から令和7年3月31日まで

**会員特典**  
協会の活動報告「すぎなみ交流ニュース」を年4回、郵送でお届けします。  
※今年度からニュースレターやイベントのチラシ等は、HPのほかLINEやFacebookなどSNSで発信します。

**申込方法**  
電話またはメールで、杉並区交流協会までご連絡ください。

LINEの友達登録もお願いします



### 皆様のご寄附で交流の輪が広がります

いただきました寄附は、子ども日本語教室をはじめ、在住外国人の支援や異文化相互理解の向上事業に活用します。皆様の温かい応援をよろしく申し上げます。

#### 選べる事業 応援したい事業を選択できるようになりました

- 在住外国人への支援
- 国内外的自治体交流の推進
- 多文化共生社会の相互理解の向上
- お任せ

寄附の受付



#### ◆郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込

▶記号：00160-8 ▶番号：588826  
▶口座名義：(ザイ) スギナミクコウリュウキョウカイ

#### ◆他金融機関からの振込

▶店名：019店(読み ゼロイチキョウ)  
▶店番：019 ▶預金種目：当座 ▶口座番号：0588826  
▶口座名義：(ザイ) スギナミクコウリュウキョウカイ

※一般財団法人杉並区交流協会への寄附は税控除の対象外です。

# 第21回 日本語スピーチ大会

3月9日(土)午後、杉並区役所会議室で第21回日本語スピーチ大会が開催されました。発表の後、子ども日本語教室の子どもたちによる日本語の絵本の朗読や名寄のもち大使による餅つきの実演などもあり、皆さん笑顔の絶えない大会になりました。今回、6か国11人の発表者の様子や発表の内容を紹介します。(広報S)



## イ・ビョンフンさん(韓国、滞在歴1年6か月) 「私の人生を変えた出会い」



テレビドラマの半沢直樹になりきった「やられたらやり返す、倍返しだ」というセリフが第一声。驚く聴衆に、自分の倍返しの対象は日本だったと話を進めます。20年前、当時は日韓の交流はほとんどなく、日本は嫌いで悪い国なのになぜ豊かな暮らしをしているのか知りたくて、初めて日本に旅行しました。ところが、町はきれいで人々は正直で親切。宿泊先のメモをなくして途方にくれていた自分を助けてくれました。そのあと、日本の大学の夏期留学に参加して3週間ホストファミリーの家に泊まり、人々の優しさに触れて日本を身近に感じ、好きになりました。今度会う時は日本語で話しましょうとの約束どおり勉強を続け、日本に航空会社の駐在員として赴任しました。今は互いの文化への関心が高まり、日韓が協力して共存共栄する絶好のチャンスです。相手の国を詳しく見る一番いい方法は直接体験すること、つまり旅行でしょう。仕事を通じて日韓の交流に毎日やりがいを感じており、日韓の架け橋として役立つことが、私がもらった恩に対する倍返しになると思います。

## テン・キョクトウさん(中国、1年3か月) 「去年の日本での生活と仕事」



2003年に北京で音楽レーベルのショップ「もくもく(中国語で、意味はキノコ)」を作ったもくさんは、8年前、東京ライブを行うために北京のアーティストと初来日した時、東京の空港と通りの匂いがとてもおいしかったそうです。2023年3月、阿佐ヶ谷に中国レコードの販売+カフェ+ライブのもくもくショップをオープンしました。ここでは書道教室もしています。阿佐ヶ谷の生活はおいしい、食べ物もおいしい、仕事もおいしい、忙しいけれど面白いです。

## リ・ギョウさん(中国、11か月)「日本の生活」

来日時は全く日本語が理解できなかったりさんにとって、現在の最大の課題は、日本人の本音と建て前です。コミュニケーションは、相手の内心の本音の考えが分からないと難しいと思うが、この結論はまだ急がないほうがいいと思っています。

## チョウ・ユウカさん(中国、2年1か月)「日本に来ておどろいたこと」

杉並区にある都立高校2年生。外にゴミ箱がないことや日本の厳しいゴミの分別に驚き、環境問題を考え、自発的にゴミを持ち帰るようになったこと等を、とても滑らかな日本語で話してくれました。

## トロットサン・ダリナさん(ウクライナ、1年6か月)「ウクライナと日本はともだち」

ロシアが侵攻した時、日本は最初に助けてくれた国のひとつ。ウクライナには、こんなことわざ、詩がある。「大変な時にこそ、本当の友達かが分かる」「友達は、ずっと最後まで友達です」

## スリトノワ・イロダ・アビリコシキジさん(ウズベキスタン、2年)「日本で驚いたこと」

左右の区別がない日本のスリッパの謎を調べ、それが外国人のために作られたものであることを知り、日本のおもてなしの心に触れたことを、すばらしい表現力でスピーチしてくれました。

## キン・キトウさん(中国、6か月)「わたしのふるさと」

「大連」の美しい自然の魅力を、春夏秋冬の四季に即して、豊かな情景描写で紹介してくれました。友達との笑顔が夏の楽しみをより一層豊かにし、イチョウの葉が風に舞う心地よい秋の日差しに友情の温かさを感じます。

## キム・ウンソさん(韓国、1年10か月)「桜梅桃李」

東京女子大学新3年生。自然な日本語で、2年間の生活体験について話しました。自分にはハンディがあるが、他人と比較するのではなく、ありのままの自分で自分らしく花を咲かせたい。それが「桜梅桃李」の意味です。

## マリアナ・ロサダ サンチェスさん(アメリカ、6か月) 「日本の高校とアメリカの高校は同じ?違う?」



去年の9月に日本に留学してきたばかりの高校生。日本の高校はあまり外国人がいないから、みんなとてもやさしく、さみしくなかったそうです。表情たっぷりに、大学の入試、友だち、先生、学食について、日本とアメリカのちがいを話してくれました。テストの高いスコアだけで将来を決める日本の入試は好きじゃないです。大きいグループで最初は友だちになりやすいが、うるさくて、もめごとがいつもあるアメリカの高校生よりも、日本の友だちのつながりの方が好きです。

## ラックブラサートスック・ボンボンさん(タイ、11か月) 「剃髪」



出家、戒律、叙階式、敬虔など「ていはつ」にかかわる難しい言葉を使いながら、日本とタイの宗教文化を比較し、坊主頭だという外見で人を判断してはいけない、先入観による印象ではないかと振り返ることの大切さを分かりやすく説いてくれました。タイ人にとって髪を剃ることは、出家して戒律を守り、善行を積むということの象徴です。何が良いか悪いかはその人の見方によります。頭を剃るという行為も同様です。

## ラビモフ・サマンダルさん(ウズベキスタン、9か月) 「私が見た日本と日本人」



幼いころから「おしん」を見て、日本に来るのが夢だったそうです。最も好きな日本の食べ物はおにぎりで、なかでもツナマヨネーズのおにぎりは依存症になります。昆布茶とともに味わうと、不老長寿の薬を飲んだ気分です。日本人の永遠の若さと長寿の秘密はおにぎりにあるのではないかと熱く語り、説得されました。最後に、いまの若者達は未来が見えないと言うが、未来が見えないのはだれも同じ。若さは自由だから、バリバリ頑張りましょう!!



子どもたちによる朗読



発表者の皆さんも挑戦した餅つき

# 令和6年能登半島地震被災自治体への支援の取組(報告)

## \* TOPIC \*

2月12日(月・祝)、東京高円寺阿波おどり振興協会と高円寺阿波おどり連協会が連携し、阿波おどりによる能登半島地震の救援募金活動を高円寺で行いました。振興協会の方は、「阿波おどりで少しでも能登を支援できたら」と熱く語っておられました。踊り手さんが阿波おどりを披露する中、能登地震で被害にあった方の少しでも助けになればと多くの方が募金し、240万円を超える寄附が集まりました。(広報O)



能登半島地震チャリティー阿波おどり

杉並区は、令和6年能登半島地震への支援として、一般財団法人杉並区交流協会と連携し、石川県能登地域にある道の駅の商品を販売する取組を始めました。

今回の取組では、杉並区の交流自治体である新潟県小千谷市が事務局を務める「中越大地震ネットワークおぢや」に加入する自治体のうち、石川県能登地域にあるかほく市と内灘町の商品を販売しています。

販売価格には、一定の寄附額を上乗せして販売し、商品を購入することで地元産業を支援し、販売価格に上乗せした寄附で、被災した能登地域の自治体を支援する仕組みとなっています。

販売初日の2月5日(月)には、区役所1階ロビーに特設コーナーを設け、石川県かほく市の道の駅「高松」から仕入れた「とり野菜みそ」や「能登牛カレー」等の特産品を販売しました。当日は悪天候にも関わらず、各商品は順調な売れ行きを見せ、約200個あった商品は昼過ぎには完売しました。

道の駅のご担当にこの結果をお伝えしたところ、現地で製作・生産している皆さんも喜んでおられたとのことでした。

2月13日(火)からは、石川県内灘町にあるホリ牧場の牛乳をたっぷり使った「夢ミルク館プリン」等の商品も入荷し、22日(木)には、再度区役所1階ロビーに特設コーナーを設け、ふるさと納税の返礼品にもなっている「水ぎょうざ『はまなす』」を加えて販売しました。

能登半島応援フェアは、少しでも被災された皆様への支援に繋がればという思いで取り組みました。このフェアを通じて、区民の皆様にも能登半島について知っていただく機会を提供できたこと、応援消費という取り組みの輪を広げられたことは、大きな意義があったように思います。

被災地の復旧・復興はこれからです。被災地支援を継続して取り組むなかで、区民の皆様にも応援消費をはじめとした支援に、今後ご協力いただけますと幸いです。

杉並区役所 文化・交流課  
五十嵐敬文(南相馬市派遣)



能登半島地震被災自治体へ支援

## 高円寺阿波おどり訪問団派遣事業

コロナ禍で縮小されていた高円寺阿波おどり訪問団の派遣事業が、2023年度は5月の台湾公演を皮切りに6月に名寄市、10月に南伊豆町、3月に青梅市で実施され、訪問した各地で大歓声を受けました。各自治体からも8月に開催された『東京高円寺阿波おどり』に多くの踊り手が参加するなど、交流の輪が広がる1年となりました。

